

令和6年11月末の交通事故の特徴

発生件数	16,981件	(-1,632件)
死者数	83人	(-4人)
負傷者数	21,761人	(-1,962人)
飲酒事故	90件	(+11件)

【発生件数】

- 高齢者関連事故は5,893件(-386件)で約1割減少
- 1当高齢運転者の交通事故は4,132件(-315件)で約1割減少
- 歩行者関連事故は2,080件(-21件)で微減
- 自転車関連事故は2,652件(-304件)で約1割減少
- 人対車両の事故は2,079件(-22件)で微減
- 車両相互の事故は14,691件(-1,599件)で約1割減少し、追突が6,076件(-535件)、出会い頭が3,980件(-453件)の順に多く発生
- こども関連事故は605件(-44件)で約1割減少

【死者数】

- 高齢者の交通事故死者数は47人(-2人)と、全死者数の約6割を占め、うち34人(+4人)が75歳以上
- 1当高齢運転者による交通事故死者数は25人(-7人)
- 歩行中死者数は37人(+4人)と、全死者数の約4割を占め、うち25人(+1人)が高齢者
- 時間帯別死者数は16時から18時までの間で13人(+7人)と、全死者数の約2割を占め、うち11人(+8人)が高齢者

【飲酒運転事故関係】

- 飲酒運転による交通事故の発生件数は90件(+11件)と前年同期比約1割増加
- 高濃度アルコール保有者が約8割
- 飲酒運転による交通事故死者は2人(-3人)
- 発生時間帯は6時から8時までの間が13件(+4件)と最多
- 筑豊地区の発生なし

注 () の数値は、前年同期比